



参拝客も驚く「矢立杉」の偉容

戦国時代（一五四三年）、甲斐の武田信玄が箕輪城を攻略する際、この矢立杉に矢を射り、戦勝を祈願したといわれています。

新連載

烏川流域の巨樹・巨木 Vol.1

榛名神社の矢立杉^{や たて すぎ}

～武田信玄が戦勝を祈願した大杉～

巨樹・巨木は、その地域の歴史とともに歩み、文化を育んできた地域の宝です。組合の管内にも多くの巨樹・巨木があります。今号から管内の木々を皆さんに紹介します。

榛名山町にある榛名神社は、創建から一四〇〇年以上の長い歴史を持つ神社です。岩山に囲まれた境内は、他に類を見ない荘厳なたたずまいを保っています。現在、国重要文化財の国祖社、額殿の大規模な修復工事が行われています。

昭和の喜劇王 榎本健一（エノケン）や、上毛かるた「沼田城下の…」の読み札で有名な旧新治村出身の江戸の豪商塩原太助の寄進した玉垣を眺めながら、榛名川沿いの長い参道をたどると手水屋（ちようずや）に到着。この手水屋の向かいに大きなスギが現れます。これが国の天然記念物「矢立杉」です。樹齢は約六百年、樹高は約五十五メートル、目通り幹周は九、七メートルもあります。

区分	形状	用途
A材	まっすぐな材	建築用材（柱など）
B材	やや曲りのある材・小径材	合板、建築用材（集成材）
C材	曲り材、林地残材	チップ、木質ボード、バイオマス燃料等

表：区分ごとの形状と用途



最近、木材取引の場面で、A材、B材などの言葉をよく目にします。

しばらく前までの原木の売買は、原木市場に集められた原木を、地域の製材業者等が、その用途に応じた末口径、長さ、品質により競り落とすというものでした。

しかし、最近では大口の製材業者等が、一定の基準を満たした原木を、定められた単価で大量に購入するというスタイルが主流になっています。渋川市にある渋川県産材センターもこのかたちを採っています。

この一定の基準で区分された原木を、A材、B材、C材という通称で呼んでいるものです。

